



# スティッキークライアント

---

- [付箋 \(1 ページ\)](#)

## 付箋

通常、関連付けられたクライアントは、周辺にある他の AP と比較して、接続されているアクセスポイントに最も近接しています。しかし、デバイスがあるアクセスポイントに接続し、別のアクセスポイントの範囲内に移動し、他のより近接した AP との関連付けが変更されない場合があります。このようなクライアントは、スティッキークライアントと呼ばれます。

たとえば、ユーザーが1階に入り、同じ階のアクセスポイントに接続したとします。ユーザーが3階に移動し、そこにとどまります。そのデバイスの接続された AP が3階に変更されると予測していても、これが変更されない場合、スティッキークライアントと呼びます。これは、より遠距離にある AP へのスティッキー性のためにローミングパターンが反映されないためです。

スティッキークライアントに関するこの情報はコントローラから取得され、Cisco DNA Spaces では計算されません。Cisco DNA Spaces がクライアントをスティッキーとしてタグ付けする場合、Cisco DNA Spaces によるデバイスの処理方法に違いはありません。Cisco DNA Spaces はコントローラからのメッセージを受信し続け、デバイスの状態を反映します。Cisco DNA Spaces : 検出と検索 UIで、関連付けられているスティッキークライアントをクリックすると、デバイスが最も近い AP に接続されていない、または別のフロアの AP に接続されていることを確認できます。

